

高等部だより

だいち

限りなく広がる大地に
根をはって・・・

2017.5.2(火) 2号
福島県立会津支援学校高等部
TEL 0242-32-2242
文責 高等部



桜の下で1年生集合！

桜の花も散り始め、会津の桜前線は猪苗代から吾妻山方面へと移っています。まだまだ肌寒い日もあり、体調の管理に気遣う毎日ですが、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。新入生は新しい学校に慣れようと努力している様子や、上級生や友だちと一緒に毎日笑顔で通学している様子があちらこちらで多く見受けられます。保護者送迎の自家用車を降りる生徒の表情にはよい緊張感も感じられます。

さて本号は、ここ3週間の授業や休み時間など日常の生徒たちの姿をお知らせしたいと思います。このような日常のありのままの生徒たちの様子をお届けし、生徒たちの学校生活の様子や思いを皆様を感じ取っていただければと思います。そして、保護者の皆様の率直な感想などもお聞かせいただければありがたいです。よろしくお願いいたします。



対面式

4月14日(金)に生徒会主催で新入生との対面式を行いました。新入生が期待と希望を持って高等部生活を送ることができるように、学校生活や部活動・委員会活動を紹介しました。新入生はこれから始まる学校生活のことを知り、高等部の生活を楽しみにしている様子でした。先輩方から温かく歓迎されたことで安心したと思います。上級生は先輩として模範になるよう自律して過ごし、これから一緒に明るく楽しい「会津支援学校」としてのスタートになることを期待しています。



生徒会長の歓迎の言葉



新入生を迎える・・・

交通安全教室

《主な指導内容》
安全な道路の歩行・横断の仕方 信号の見方と確認 交通機関の運休や遅れと対応
路線バス利用時のマナー 体調不良時の対応 不審者への対応等

「世界の願い交通安全」という標語を耳にしてかなり久しいですが、いつの時代でも、交通事故の根絶は心からの願いです。生徒たちは、通学状況別・実態別に分かれて、座学や実地学習をとおして、安全な通学へ向け安全意識を深めることができました。交通安全は、毎日のことです。生徒たちの「命を守る」意味から、今後とも保護者の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



真剣に説明を聞く生徒たち

授業などの様子



生徒たちは、体力づくりや健康の保持などをねらいに、毎日9:00からのスポーツタイム（保健体育）や運動の時間（自立活動）で会津大学周回マラソンや身体の曲げ伸ばしなど運動の時間に取り組んでいます。今後の記録会や各種大会出場の目標を持っている生徒もおり、さわやかな一日のスタートを切っています。それぞれの自己目標に向かって頑張っ
てほしいと思います。



体力づくりは、福島県全体の課題でもあり、生徒にとっても、将来の社会生活に向けて体力を強化していくことは、生活の全ての基盤になると考えます。その意味でも毎日休まず登校し、運動はもちろん諸活動に自分から進んで取り組んでいくことは、学校生活の原動力になり、いろいろなことへ「挑戦」する姿勢や意欲にもつながるものと考えます。今後もあらゆる機会を捉え、更なる健康保持・体力増進を図ってまいります。

*他の授業等は次回からの号でお届けします。（国語、外国語、社会、理科、保健体育、音楽、家庭、情報、作業学習、生活単元学習、日常生活の指導 等）



《食育》は大切です。自分の役割を果たし、楽しい会食をとおして自立をめざします。



1年数学 「計算の力」計算は数処理の基本です。合理的な数処理の考え方を学びます。



自立活動「概念の形成」かずやまじの基礎学習を、落ち着いた環境の中で集中して学習しています。



食育:「摂食指導」は五感を最大限に稼働させ、言葉や社会性なども同時に学びます。



鯉のぼりをあげるK君 ちょっとした役割と責任が自立力を高めます。



業間の活動:「移動図書館」昇降口に横着けされた車に、多くの生徒が集まり、興味のある本を手に取り借りていました。



自立活動「心理的安定」「概念の形成」等、描画を行うことで色や線の組合せによる数や文字の書記学習につながるとともに、安定した生活の糸口になります。



1年数学 「文章題を解く力」設問の理解を基に問われた合理的な数処理の考え方を学びます。



「作業学習」選択体験期間 3年生が、新入生にオフィスアシスタント業務の説明をしています。



〈歯科検診〉虫歯予防も大事ですが、歯周病や噛み合わせにも要注意です。

次号は各授業風景に加え、実習内容に関して載せます。



市内の桜はピークを過ぎ、葉桜の風情もまた良し・・・といったところでしょうか。さて桜の花は、皆さんも知ってのとおり（品種にもよりますが）「人々によく見えるよう、下に向かって咲きほこる」といわれています。確かに蕾は天を向いていますが、咲き始めると徐々に地面に向かって花を開きます。私などは、木々の下を行き交う人々を楽しませるかのように咲く可憐な花だと思い込んでいます。桜本人がそのような思っているとは、考えにくいのですけれど・・・。実は、学問的には、受粉をするのに一番合理的なように、花の大きさや形、向きまでも進化してきたそうです。

さて桜前線は、北上をし続けています。ここ会津は猪苗代付近がこのゴールデンウィークに満開のようです。

桜の花一つ・・・その見方もいろいろですが、日本人としては、太古の昔からある心情的な深い見方をしてみたいと思いたいと思いますがいかがでしょうか。

桜の花のいろいろな見方は、人とのかかわりにもどこか共通しているようなところがあるような気がして、生きとし生けるモノとの「交信」を丁寧にできる教師になりたいものだと思うこの頃です。（T・Y）

